

研究課題名 日本における若年性特発性関節炎患者の現状と問題点を全国的に継続的に明らかにするための共同臨床研究
研究責任者名 広島大学大学院医系科学研究科小児科学 教授 岡田 賢
研究期間 2017年10月2日 ～ 2029年3月31日
対象者 2017年10月2日から2028年12月31日の間に、当院小児科に通院・あるいは入院中のJIA患者さん(発症16歳未満)を対象とする。性別は問わない。本研究への登録時点での年齢は問わないものとする。 除外基準 国際基準(ILAR)によるJIA疑い例、不確定例。
意義・目的 本研究の目的は、JIA患者の情報収集のための全国規模の多施設共同ネットワーク(データベース)を構築し、継続的に情報を収集して、JIA診療の現状および問題点を明らかにすることです。先行する成人の関節リウマチのデータベース(NinJa)との共通項目を含めたデータを収集し、大規模かつ継続的に調査することで、 <ul style="list-style-type: none"> ・ 治療内容、疾患活動性、身体機能、関節破壊の実態および経時的変化 ・ 感染症、悪性疾患、骨粗鬆症などの合併症の実態および経時的変化 ・ 小児科から成人診療科への移行状況、移行時期および問題点 ・ 成人診療科移行後の経時的変化 ・ 妊娠、出産、就労などを含めた長期予後 など、これまで詳細が不明であった本邦におけるJIAの実態および長期予後の検証が可能となります。
方法 本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は発症年齢、性別、病型、関節炎の状態、血液検査・尿検査・レントゲンの結果、合併症、家族歴、入院・通院状況、就学・就労状況、妊娠・出産状況、手術の有無とその内容、治療内容、人工関節の予後、などです。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
外部への試料・情報の提供 東京科学大学病院(提供先)への情報提供は、メールまたは調査用紙に記入し郵送によって行います。
本学の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科小児科学・岡田賢 本学の研究機関の長 広島大学理事 田中純子 研究代表機関 東京科学大学(茨城県小児・周産期地域医療学)教授 清水正樹

共同研究機関

大阪医科大学大学院医学研究科 泌尿生殖・発達医学講座小児科・杉田侑子

あいち小児保健医療総合センター・感染症/予防診療科・岩田直美

宮城県立こども病院・総合診療科・梅林宏明

KKR 札幌医療センター・小児/アレルギーセンター・大倉有加

琉球大学大学院医学研究科 育成医学・金城紀子

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 小児科学・山崎雄一

金沢大学付属病院小児科・横山忠史

横浜市立大学大学院医学研究科発生成育小児医療学・野澤智

兵庫県立こども病院 リウマチ科・中岸保夫

岡山大学病院 小児科・八代将登

京都大学大学院医学研究科発生活達医学講座発達小児科学・八角高裕

山口大学大学院医学系研究科小児科学分野・脇口宏之

国立病院機構相模原病院臨床研究センター・リウマチ科・松井利浩

千葉大学医学部付属病院・小児科・山本健

北海道大学・小児科・竹崎俊一郎

千葉県こども病院・富板美奈子

聖マリアンナ医科大学・山崎和子

日本医科大学・榎崎秀彦

試料・情報の管理責任者

広島大学大学院医系科学研究科小児科学 教授 岡田 賢

個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5473

広島大学大学院医系科学研究科小児科学 診療従事者 安村 純子